

数学

京都大学[文系] (前期)

<全体分析>

試験時間	120分	解答問題数	5題
------	------	-------	----

解答形式
記述式

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・変化なし・やや増加・増加)
難易 (易化・やや易化・変化なし・やや難化・難化)

出題の特徴

2、4で、方針を誘導するための(1)があった(昨年は、1題であった)。3、4は理系と共通。

その他トピックス (入試改革の方向性を踏まえた目新しい出題など)

思考力、論証力を問う問題が、例年のように出題されている。

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
1	積分法	数学Ⅱ	絶対値記号を含む関数、面積	標準
2	微分法	数学Ⅱ	三角比の公式から3次関数を導く	標準
3	整数	数学A	3で割ったときの余りで分類する	標準
4	空間図形	数学A	四面体を切ってできる立体の体積の性質	難
5	確率	数学A	袋の中の状況が毎回変わる試行	やや難

※難易度は5段階「難・やや難・標準・やや易・易」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

論理的な思考力と論証力を養うこと。誘導の小問がない形で出題されることが多いので、有効な方針を立てる力を意識して身につけたい。